

2015
9.1

市報

ひがしまつしま

多彩な糸で紡ぐまちの未来 東松島ステッチガールズ

～復興まちづくり計画・事業の進ちょく状況の中間報告(後編)～



復興まちづくりで、集団移転や住宅再建などハード面の整備とともに重要なのが、コミュニティの形成・再生などソフト面の充実です。震災で被災された方々の雇用創出や生きがいがいづくりにつなげようと、市内各地でコミュニティ・ビジネスの輪が広がっています。平成25年に誕生した「東松島ステッチガールズ」は復興に向けて幅広い活動を展開している団体の一つです。

今号では、ステッチガールズの取り組みや今後の展望とともに、震災後初めて実施される国勢調査について特集しました。また、国内のすべての人、世帯を対象に行う大規模な国勢調査は、本市において震災による影響や復旧状況をうかがうことができる重要なものです。市民の皆さんのご協力をお願いします。

写真…「東松島ステッチガールズ」のメンバーの皆さんと、真心を込めて作った作品の数々

市報
ひがし
まつしま
No.178

- 特集 復興まちづくり計画・事業の進ちょく状況の中間報告(後編)
～笑顔輝く東松島ステッチガールズ～ ----- P2～P3
- 特集 国勢調査のお知らせ ～震災後初めての大切な調査です～ ---- P4
- まちの情報広場 ---- P5～P8
- 市民協働のまちづくり ----- P9
- City View ----- P10～P11
- もっと知りたい!ひがしまつしま ---- P12～P13
- 知っ得情報 ----- P14～P17
- ヘルシーインフォメーション ----- P18
- 戸籍のまど ほか ----- P19
- 市民のカレンダー ----- P20



東松島市キャラクター イト&イーナ
(右) (左)

楽しく広げる刺繍の輪

笑顔輝く 東松島ステッチガールズ

デンマークの伝統刺繍「クロスステッチ」を用いた小物を制作する「東松島ステッチガールズ」は、地域の女性の皆さんの生きがい創出と雇用につなげるため、東日本大震災後に誕生しました。現在、市内を中心に、20代から70代までの女性63人が所属しています。今年のスローガンは「東松島の新産業、楽しく広げる刺繍の輪」です。メンバーひとり一人が主体的に活動し、一歩ずつ前に進んでいくことを目指しています。



▲親しみやすいデザインで、多くの人たちに愛されています

就業スタイルは、新しい仕事を受けた際にメンバーが集まって研修を受け、あとは内職が主となります。今年「日本ホビーショー2015」に作品を出展したほか、開通したJR仙石東北ラインのマブネットバーの制作、新作などに取り組んでいます。メンバーの皆さんは、何よりも「楽しむこと」を大事にしなが、一針一針心をこめて仕上げています。メンバーの一人の濱田奇公子さん(35)は「皆さんと世間話を弾ませながら作業に取り組む時間が、今となっては貴重なものとなっています。今後とも楽しむことを忘れずに活動に取り組んでいきたいですね」と話していました。

完成のきっかけはデンマーク出身の祖母を持つ、タレントでクロスステッチ講師の岡田美里さんが被災地支援の一環として発案したワークショップでした。当初は趣味の一環として楽しんでもらう目的でしたが、出来上がった作品を岡田さんの経営する店などで販売していくうちに参加者たちの意欲につながり、各々の技術も向上していきました。

作品への一定の反響もあったため、平成26年1月にビジネスとしての活動を正式に開始。同年6月には、復興庁の「新しい東北」先導モデル事業に認定され、大手企業の仕事も担うようになりました。

趣味からビジネスへ発展



▶仕上がった製品を確認するメンバーの皆さん

思わず手にしたくなります かわいらしい作品たくさん

ステッチガールズが手掛けた作品群の一部を紹介します。各商品は、野蒜地域交流センター(N-まっぶ)の物販スペースやウェブショップ(URL:<http://stitchgirls.theshop.jp/>)で取り扱っています(一部を除く)



①イニシャル刺繍入り今治タオルハンカチ(税込1,800円)。さりげないイニシャルが贈り物にも最適です

②ブルーインパルス刺繍入り手ぬぐい(税込1,000円)。東松島市のシンボルをかわいらしく表現した一枚です



③JR仙石東北ライン全線再開記念マブネットバー(税込750円)。今年発売したばかりの人気作品の一つ



④ピンバッジ、髪留め(税込300～500円)。ブルーインパルスをはじめ、動物、果物、音符などさまざまなバリエーションで発売中



⑤オリジナルタンブラー(非売品)。企業の依頼でノベルティとして制作しました。今後は商品化を予定しています

クロスステッチとは

クロスステッチとは、名前の通り、X印の縫い取りを布に並べた柄を表現する刺しゅう法です。図案がマス目状に表現されるため、初心者や子どもでも比較的簡単に取り付くことができるのが特徴です。

このクロスステッチという技法で作られるのが「デンマーク刺繍」。デンマークの民族衣装には四季折々の北欧の植物や風景、動物などがかわいらしくデザインされており、これらの多くにクロスステッチが用いられています。

刺繍マイスターの岡田さんが直接指導

制作のコツなどアドバイス

フランスの刺繍メーカー「DMC」認定の刺繍マイスター、岡田美里さんは、たびたび市を訪れ、クロスステッチの技術を伝授しています。これまでに生産から品質管理、人材育成までのノウハウに至るまでサポートを行ってきました。

岡田さんは、今年7月19日(日)に市役所202会議室で開かれた「本年度取組み方針説明会」にも出席し、ワークショップを通じて岡田さん流の「デザイン起こし」の方法を伝えました。参加した約30人のメンバーに岡田さんは「皆さんがこれは素敵」と感じたデザインのイメージを大切に、自分の作品に生かしていくのがコツです」などアドバイスをしました。



▲デザイン起こしのコツを伝授する岡田さん
(7月19日開催ワークショップの様子、市役所)

岡田美里さんからのメッセージ



ステガと私

「美里さん、東松島の復興のために何か一役買っていただけませんか」。電通東日本の稲川清美さんからお声掛けいただいたのが震災から2年経った冬のことでした。電通が復興支援チームを仙台で立ち上げ、私がとてもお世話になった電通東日本の鶴宮部長が仙台に単身赴任された直後のことでした。

世界の皇族としては初めて、デンマーク皇太子様が震災3か月目に東松島を訪問して下さっていたことは、祖母がデンマーク人の私にとって誇らしいニュースでしたが、その後の東松島ではデンマークをお手本にした復興を目指す動きがあることは、私には初耳でした。

デンマークは戦争で荒れた国を建て直し、近代国家に生まれ変わった歴史を持つ国で、アンデルセン童話でも戦禍と人々の幸せを求める気持ちが暗に描かれていることを知っていた私は、電通さん

からのお声掛けにすぐに答えたいと思いました。

「でもね、私ができることはクロスステッチ刺繍を教えることくらいです。」

そうお答えしながら、その時点で、もう私の心の中には大きな夢が広がっていました。ヨーロッパの国々で戦争から復興しようとする女性達が、刺繍で集まってテーブルクロスなどを作り、心も経済も立て直したことを私は知っていたからです。すぐに刺繍用品の老舗であるDMCの小山田社長が名乗りを上げてくださり、東松島周辺から刺繍で集まった女性達をステッチガールズと命名し、研修や技能試験などを繰り返して、今では60名を超える「ステガ」が誕生しました。

以来、企業のノベルティーや小物製作で活躍しています。「AKB48」を目指して「いつか皆で歌って踊ろう」なんて冗談言っていたのに、48名をすでに超えてしまいました。

次の夢はステガによるカフェの立ち上げです。東松島に刺繍カフェ、地元の皆様が集えるカフェを作りたい。その夢が「叶うのも、もうすぐ。ステガと私の絆は強く強く結ばれています。」

ものづくり 誰もが主人公

新規メンバー 大募集

東松島ステッチガールズの事業を今後拡大させるためには、被災地発のイメージに頼らないブランド性や独自商品の確立、制作から発案、検品、納品に至るまで自らが担える組織づくり、そして人材増強など多くの課題を解決していかなければなりません。さらに作り手の顔が見える安心感と信頼性で、価値を高めていくことも大切です。

具体的な目標としては、年間売上額を800万円に掲げ、会員も100人以上に増やして「全員が資格を有するプロ集団」に成長するよう努めていきます。

プロ集団とし大きく成長へ

ステッチガールズでは、市内外を問わず新規メンバーを募集しています。毎月第2、4木曜日に矢本のあったかいホールで研修会(部材費用負担有)も実施していますので、興味のある方は事務局の一般社団法人東松島みらいとし機構まで気軽に問い合わせください。

■問 一般社団法人東松島みらいとし機構 ☎98-7311

平成27年 国勢調査 の お知らせ

国勢調査
2015



平成27年国勢調査を全国一斉に行います

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象として5年に一度実施する大規模な統計調査です。震災後、初めてとなる国勢調査となります。皆様のご協力をお願いします。

9月上旬から調査員がお伺いします

調査員が皆様のお宅を訪問し、調査書類をお配りします。この調査では、先にインターネットでの回答を受け付け、インターネットで回答されなかった世帯には、紙の調査票を配布して調査を行います。

いつでもどこでも、便利に回答。
パソコンやスマホでの回答を可能に。

インターネット回答は

9月10日～20日

9月10日～12日
インターネット回答用IDを配布

9月10日～20日
インターネット回答

インターネット回答がなかった世帯には
調査員が調査票を配ります。

調査票での回答は

10月1日～7日

9月26日～30日
調査票を配布

10月1日～7日
調査票を提出



調査の対象

- ◆国勢調査では、住民票などの届出に関係なく、10月1日現在、東松島市に普段住んでいる人(普段住んでいるとみなされる人を含む)すべてを、その人が普段住んでいる場所で世帯ごとに調査します。
- ◆前回国勢調査(平成22年10月)実施後の平成23年3月に東日本大震災が発生し、大規模な人口移動が起きていることから、当該震災の影響を人口移動の観点から把握するうえで、今回の国勢調査は重要な調査となります。

国勢調査は、日本の今を知り、 未来をつくるための調査です

- ◆国勢調査は、日本の人口や世帯の実態を明らかにするため、統計法に基づき実施する国の最も重要な統計調査です。大正9年から5年ごとに行われ、今回が20回目にあたります。
- ◆調査結果は、少子高齢化対策、防災対策、地域創生などの重要課題に対する施策に活用されるとともに、国民全員の共有の財産として、広く一般の方も利用できます。
- ◆今回の国勢調査から、従来の調査員への提出または郵送で提出する方法のほかに、インターネットでも回答できるようになりました。また、パソコンだけでなくタブレット端末やスマートフォンからも回答できます。

国勢調査員とは

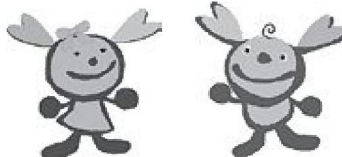
国勢調査員とは、総務大臣が任命した非常勤の国家公務員です。



- ◆国勢調査は回答の義務があります
統計法では、正確な統計を作成するために、調査項目に回答する義務(報告義務)が定められています。

- ◆個人情報厳格に保護されます

- ・国勢調査では、統計法によって、厳格な個人情報保護が定められています。
- ・インターネット回答における通信は、すべて暗号化(SSL/TLS方式)されています。また、不正なアクセスなどの監視を24時間行っています。
- ・国勢調査に従事する者(調査員、地方公共団体の職員など)には、統計法による守秘義務が課せられています。



国勢調査トピックス

市では、調査が万全に進むため、庁舎内の協力体制の強化を目的に、5月1日に「平成27年国勢調査東松島市実施本部」を設置しました。

事務局を復興政策課内に置き、調査に関する事務処理、指導員や調査員の統率、広報や啓発活動を中心に準備を進めています。

■問 復興政策課地域振興班 ☎内線1233

もれなく・重複なく調査を行うために、訪問時に代表者の氏名と世帯の男女の人数をおたずねします



まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111
代表FAX 0225-82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

少しでも負担の軽減を



埼玉県久喜市から派遣
福祉課
加藤 寛さん 39歳

震災後、何らかの形で少しでも支援できないかと思い、福島県双葉町の皆さんが避難していた埼玉県加須市で2週間、派遣職員として働きました。被災地では今も職員の人手不足が深刻ということで長期派遣を希望しました。

介護保険の受付など高齢者福祉業務が主な仕事です。復興には直接関わりませんが、私がこちらで仕事をする事で、他の職員の負担が少しでも減れば幸いです。派遣が終了しても、おいしい海の幸や素晴らしい景色を満喫するためにまた訪れたいです。

住民の声に心を向けて



埼玉県越谷市から派遣
用地対策課
高橋 慎吾さん 28歳

平成24年に越谷市役所に入庁するまではIT業界におり、震災直後には仙台市でネットワークの復旧にあたり、人々の様子から混乱した状況を実感しました。

派遣元でも都市計画道路整備などに伴う用地買収を行っていましたが、東松島市では被災地域が買収対象となる点で、これまでとは意味合いが違います。しかし、土地所有者の方の後の生活に関わるという部分は変わりありません。経験不足は否めませんが、努力を重ね、地域の方々の穏やかな人柄に触れながら、しっかりと思いに耳を傾けていきます。

微力ながら使命を果たす



愛知県豊田市から派遣
総務課
藤田 聡さん 45歳

震災後、何かをしなればと思っていました。その中で今年1月、豊田市では初の派遣職員公募があり、年齢的にラストチャンスと思い応募しました。中学生の息子たちを抱える身で妻を説得するのに1週間かかりましたが、家族はもちろん職場の支えもあり、ここに来ることができました。

震災からこれまで市民の皆さんがどれだけ頑張ってきたか。この先もどれだけ頑張らないといけないのか。それを思うと頭が下がります。微力ですが、使命である職員数維持という目標を必ず達成できるよう努めています。

「なんでもやろう」の気持ちで



兵庫県から派遣
下水道課
竹内 誠さん 64歳

東日本大震災発生時には阪神淡路大震災の記憶が再びよみがえってきました。当時から、被災地で役に立つことがあればと思いがら過ぎていたので、この度派遣職員として手を挙げました。

東松島市を初めて訪れた時、大曲浜で地元建設業者の方から震災当時の体験を聞き、地域の復興のためならば何でもやろうという気持ちが強まりました。業務に必要な土地勘はなかなか身に付きませんが、皆さんが当たり前の暮らしを取り戻せるよう、精いっぱい頑張っていきます。

県内被災者として地域とともに

仙台市では水道関連施設の維持修繕にかかわっていました。震災後は3週間、市役所に寝泊まりする状況でしたが、さしあたっての業務にめどが付いた今、全国からの支援に恩返すため、東松島市の復興をお手伝いしようと派遣を希望しました。

現在の業務は鳴瀬地区における保育所や小学校の建設現場の監督などで、工事関係業者の方々からは復興への意気込みを感じています。子どもたちも保護者も安心して使える施設として、一つの間違いないようにこれからも気を配っていきます。



仙台市から派遣
建設課
佐藤 大樹さん 37歳

健康心がけ業務にまい進

5年前に神奈川県職員を定年退職しましたが、被災地のために何かしたいという思いから、OBの派遣職員を希望しました。年齢的に体力面での厳しさもありますが、自転車での移動など常に体を動かすことを心がけて健康づくりをしています。

こちらでの主な業務は農地の整備の設計施工管理、指導などです。市民の優しさに触れ、皆さんのために役立ちたいと日々思っています。市内で気に入っている場所は大高森の絶景。余裕があれば県内の史跡巡りもしてみたいと思います。

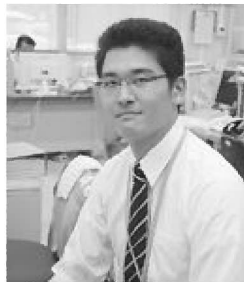


神奈川県から派遣
農林水産課
福岡 文治さん 65歳

まちの復興に尽力

固定資産税班で主に新築家屋の調査・評価業務を行っています。派遣期間は来年3月までの1年間です。東松島市を訪れたのは今回が初めてですが、少しでも被災地の皆さんの力になればと派遣を希望しました。派遣元の川崎市に比べて、東松島市は気候も穏やかで過ごしやすい印象です。

市民の皆さんからは震災当時の話や復興の話などを聞かせていただき大変参考になります。まちのために力を尽くしながら、この経験を自身の成長にもつなげたいと思います。



神奈川県川崎市から派遣
税務課
相川 弓弦さん 27歳

最前線でできることを

熊本県では、道路や河川の設計、現場監督、維持管理を担当してきました。これまでは被災自治体に派遣された職員たちの後方支援という形でしたが、やはり最前線で復興に関わりたいと思い、志願しました。発災から4年余りが経ち、着実に復興へ向けて進む地域の姿を目にしながらも、まだまだこれからだとも感じています。

こちらではなじみのお店もでき、住民の皆さんの優しさに触れながら生活しています。自分のできることを全力でこなし、復興に寄与してきたいです。



熊本県から派遣
復興都市計画課
芥川 崇さん 42歳

東松島の復興を応援します
長期派遣職員の紹介

●長期派遣職員の皆さんは、「桜色（ピンク）のリード（ひも）がついた名札を着用しています。

9月は「世界アルツハイマー月間」～認知症を正しく理解し、本人や家族を地域全体で支えましょう～

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。国際アルツハイマー病協会(ADI)が認知症への理解をすすめる、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定され、2012年からは9月を「世界アルツハイマー月間」として、世界各国で啓発活動を行っています。

◆認知症とアルツハイマー病

アルツハイマー病は、認知症の原因となる病気の一種で、軽度の物忘れから徐々に進行していきます。認知症全体の約5割をこの病気が占めているといわれています。

認知症は誰がかかるといわれる可能性のある病気です。85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれています。認知症の人は、つい先程した体験を忘れてしまうという症状から、過去から現在への連続性がなくなるため、絶えず不安な状態におかれていることとなります。このような心理を理解する周囲の関わりが、安心感を与えるコミュニケーションにつながります。

認知症を正しく理解し、本人や家族を地域全体で支えていきましょう。

◆認知症サポーター養成講座を受講しませんか

市では、認知症についての理解を深め、認知症の人に対する声かけや対応の仕方を学んでいただくための「認知症サポーター養成講座」の開催を推進しています。

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族をあたたく見守る応援者です。サポーターは特別なことをする人ではなく、地域や家族、職場で自分のできる範囲で活動します。例えば友人や家族にその知識を伝える、認知症の人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店、交通機関など、まちで働く人としてできる範囲で手助けをするなど、活動内容は人それぞれです。

市では地域・学校・職場などの様々な集まりに向いて、認知症サポーター養成講座を開催しています。講座を受講された方には認知症サポーターの印として「オレンジリング」をお渡しします。本市では平成26年度は16団体が受講し、540人のサポーターが誕生しています。

受講を希望する方(団体)は、市役所福祉課高齢介護班または市地域包括支援センターまで連絡ください。



◆東松島市高齢者SOSネットワーク事業

認知症などで行方不明になる心配のある、おおむね65歳以上の高齢者の方に対し、普段から地域で見守り、声かけなどを行っていたが、異変を早期に発見し、適切な支援につながる体制を構築していく事業です。行方不明発生の場合は、協力機関(市へ事前に登録された事業所等)へFAXなどで情報を提供し、できる範囲で捜索などの協力をお願いします。

また、対象者で希望する方は事前登録制度を利用することができます。

◆事前登録制度について

■対象 行方不明発生時における協力を希望する方で、関係機関、協力機関への情報提供に同意される方

■必要書類 「事前登録申請書」「同意書」「写真」

※申請書類は市ホームページからダウンロードできます。

(登録された情報は、行方不明時の発見に役立てるため市福祉課および防災課、市地域包括支援センター、石巻警察署で情報共有されます)

◆認知症地域支援推進員を配置しました

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するためには、医療・介護および生活支援を行う様々なサービスが連携したネットワークを形成し、認知症の人たちにとって効果的な支援を行うことが重要です。そのため市町村において医療機関や介護サービスおよび地域をつなぐコーディネーターとしての役割を担うのが認知症地域支援推進員です。

市では27年度から市地域包括支援センターに1人配置し、認知症施策の推進を図っています。

【主な役割】

- ・認知症の人やその家族の相談支援
- ・地域の状況に応じて認知症の人やその家族を支援する事業の実施(認知症サポーター養成講座や認知症介護家族などの交流会など)
- ・認知症の人やその家族が、状況に応じて必要な医療や介護などのサービスが受けられるよう関係機関へのつなぎや連絡調整の支援

相談窓口

認知症に関することでお悩みの方や相談したい方は、ひとりで悩まず、かかりつけ医をはじめ相談窓口や専門機関などに早めに相談しましょう。

- 東松島市地域包括支援センター ☎83-1966 (月～金曜、8時30分～17時15分)
- 市役所福祉課高齢介護班 ☎82-1111 (月～金曜、8時30分～17時15分)
- 宮城県高齢者総合相談センター ☎022-223-1165 (月～金曜、9時～17時)

- 宮城県認知症疾患医療センター(こだまホスピタル内) ☎0225-95-7733または0225-22-6301 (月～金曜、9時～16時30分)
- 公益社団法人 認知症の人と家族の会 本部:認知症の電話相談110番 ☎0120-294-456 (フリーダイヤル) (月～金曜、9時～15時) 宮城県支部:電話相談 ☎022-263-5091 (月～金曜、9時～16時)
- 若年性認知症コールセンター(65歳未満発症についての相談) ☎0800-100-2707 (フリーダイヤル) (月～土曜、10時～15時)

転倒予防教室の開催

転倒予防や認知症予防に効果があるといわれている「スクエアステップ」という運動を実施します。「つまずきやすくなった」など運動不足を感じている方、体力を維持したい方など、みんなで楽しく体を動かしてみませんか。初めて運動する方大歓迎です。参加費は無料です。

■対象 市内に住所を有する65歳以上の方で、要支援・要介護認定を受けておらず運動が可能の方

■日程 10月5日(月)～12月14日(月) 毎週月曜日、計10回

■時間 13時30分～14時30分 ※初回は開講式のため13時～。

■場所 市健康増進センターゆふと

■内容 スクエアステップ・スポーツお手玉、健康チェック、体力測定 ほか

■定員 各25人 ※応募人数が定員を超える場合、初めての方を優先。

すでに27年度参加された方は遠慮ください。

■申し込み 9月18日(金)まで、電話にて下記まで申し込みください

■問 福祉課高齢介護班 ☎内線1190

「タブレットPC講習会」を開催します

～くらっぱ&HOPE 第3弾 敬老の日企画～

毎回大好評、iPad(タブレットPC)の講習会です。今回は2会場で行います。お近くの会場で、ぜひ便利さを体感してください。

■日時 9月12日(土)13時～

■場所 第1会場:蔵しっくパーク 第2会場:赤井市民センター

■定員 各会場20人 ■対象 年齢不問

※初めての方と高齢者(65歳以上の方)を優先します。

■募集開始 8月18日(火)9時～ ※定員に達し次第締め切り。

■応募方法 2会場とも下記に直接電話で申し込み

※赤井市民センターではお答えできません。

■主催・共催 蔵しっくパーク(NPO法人東松島まちづくり応援団)、一般社

団法人東松島みらいとし機構(HOPE)、KDDI株式会社

■問・申し込み 蔵しっくパークふれ愛情報プラザ ☎84-2011

※9時～17時受付、月曜休館。

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111
代表FAX 0225-82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

災害義援金第七次配分のお知らせ

東日本大震災の被災者に対する義援金の配分について、宮城県災害義援金配分委員会および東松島市災害義援金配分委員会が開催され、各団体に寄せられた義援金の新たな配分が決定しましたのでお知らせします。

なお、今回の配分に伴う新たな申請は不要です。また、支給時期は9月中旬を予定しており、支給決定者には順次通知します。

■義援金配分金額

支給対象	義援金受付団体配分額	宮城県配分額	東松島市配分額	合計	
死亡・行方不明者	10,000円	5,000円	—	15,000円	
災害障害見舞金対象者	10,000円	5,000円	—	15,000円	
住家被害	津波浸水区域(※) 全壊	25,000円	5,000円	1,200円	31,200円
	大規模半壊	20,000円	5,000円	1,000円	26,000円
	半壊	5,000円	5,000円	700円	10,700円
	津波浸水区域以外	全壊	20,000円	—	—
	大規模半壊	15,000円	—	—	15,000円

※津波浸水区域は「平成23年度分の固定資産課税免除区域として告示されている区域」になります。区域図については、市報平成23年8月1日号および市ホームページで確認できます。

●参考 平成27年7月31日現在の市への義援金受け入れ額
357,126,210円(うち346,145,300円配分済)

■問 福祉課福祉総務班 ☎内線1173・1174

東松島市“ふるさと納税”が新しくなります

9月1日から、東松島市“ふるさと納税”寄附金の業務を『一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)』が代行することになりました。

クレジットカードによる“ふるさと納税”が可能となり、インターネット上で簡単に手続きできる環境を提供するとともに、特設ウェブサイトを開設し、東松島市の物産・地域産業を広くPRする機会を増やしていきます。“ふるさと納税”は、地域の発展のために全国の皆さんから寄附をいただく仕組みであり、そういった皆さんの『志』をしっかり受けとめ、東松島市の震災からの復興を推進し、活気ある魅力的なまちづくりをすすめるために、市内事業者の皆さんと協力して取り組んでいきます。

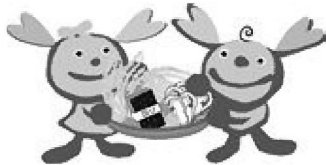
返礼品の一覧など、詳しい情報は

東松島市ふるさと納税特設サイト www.hm-furu.com

をご覧ください。

※市内在住の方でもふるさと納税をすることができます。

※返礼品の提供に関心のある事業者の方は下記まで相談ください。



■問 一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)

☎98-7311 FAX:0225-98-7085 Email:info@hm-hope.org

ハローワーク石巻障害者就職面接会

■日時 9月11日(金)13時30分～ ※終了予定時間:15時30分。

■場所 石巻グランドホテル(住所:石巻市千石町2-10)

■対象 仕事を探している障害者の方

※当日は「面接会用の履歴書」と「障害者就職面接会参加票」が必要です。詳しい内容は、下記まで問い合わせください。

■問 ハローワーク石巻専門援助部門 ☎0225-95-0158

災害公営住宅の入居申込みの受付を開始します

■募集内容

整備地区名	入居開始予定	形式	募集予定戸数※2	間取りタイプ				ペット
				1LDK	2LDK	3LDK	4K	
柳の目東	平成27年9月	戸建集合	2	—	—	—	2	不可
			6	6	—	—	—	不可

注)間取りタイプ別欄に数字が入っているものが募集戸数です。募集戸数は、変更になる場合があります。

■申込期間 9月1日(火)～11日(金)

■申し込み 入居資格を確認しますので、下記まで問い合わせください

※入居資格は、必ず下記の【災害公営住宅の入居資格】をご覧ください。

【災害公営住宅の入居資格】

東日本大震災により住居が全壊(全流失)された方、または住居が大規模半壊・半壊し、解体を余儀なくされた方で、現在定住できる住まいに困窮している方です。

持ち家がある方や公営住宅に入居している方(ただし、応急仮設住宅として公営住宅に入居している場合や居住人数に間取りが適合せず困窮しているなどの場合は除く)、申込者および同居を予定している人が暴力団員の場合等は、申し込みできません。

上記の他に、連帯保証人1人(困難な場合は相談のうえ、緊急連絡人1人)が必要です。

■問 建設課復興住宅班 ☎内線2262・2264

市営住宅 入居者募集

住宅名(所在地)	間取り	戸数	備考
市営下浦住宅 2～3号棟 (矢本字下浦191)	3K(6畳/4.5畳/4.5畳) 1・3階、浴槽なし	3	(申込条件) 単身可
市営下浦住宅 4号棟 (矢本字下浦191)	3K(6畳/6畳/6畳) 1・4階、浴槽なし	2	(申込条件) 単身可
市営下浦住宅 4号棟 (矢本字下浦191)	4K(6畳/6畳/6畳/4.5畳) 2階、浴槽なし	1	(申込条件) 4人以上世帯
市営小野駅前住宅 (牛網字駅前1丁目53番地1、54番地1)	3LDK(6畳/8畳/洋間)、 浴槽あり、駐車場あり	2	(申込条件) 2人以上世帯

※単身入居には条件があります。詳しい内容は、配布案内書を確認ください。

■申込期間 9月1日(火)～12日(土) ※期間厳守。

■案内書配布 市建設課(鳴瀬庁舎2階)・市民課(本庁舎1階)、宮城県住宅供給公社東部事務所

■申込方法 専用の申込用紙に記入のうえ、郵送で申し込みください
※9月12日(土)までの消印有効。

■問 宮城県住宅供給公社東部管理事務所

住所:石巻市中里7丁目1-3 ☎0225-21-5657

県営住宅 入居者募集

■申込期間 9月1日(火)～9月12日(土) ※期間厳守。

■案内書配布 市建設課(鳴瀬庁舎2階)・市民課(矢本庁舎1階)、宮城県住宅供給公社東部事務所

■申込方法 専用の申込用紙に記入のうえ、郵送で申し込みください
※9月12日(土)までの消印有効。

■問 宮城県住宅供給公社住宅管理課 ☎022-224-0014

宮城県住宅供給公社東部管理事務所 ☎0225-21-5657

住所:石巻市中里7丁目1-3

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111

代表FAX 0225-82-8143

(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

石巻赤十字病院からのお知らせ 時間外の特別料金(時間外選定療養費)の導入

石巻赤十字病院救命救急センターは、緊急性の高い重症患者さんを24時間体制で受け入れ、安心・安全で質の高い医療を提供することが使命であると考えています。平成27年10月からは救命救急センターの新棟移設およびセンター専用病床の増床により、三次救急体制の一層の充実を計画しています。

しかし、夜間・休日の救急外来では、必ずしも緊急治療の必要がない患者さんの受診も多く、本来担うべき入院治療が必要な緊急・重症な患者さんの診療に支障をきたし、大変苦慮しています(平成26年度の休日夜間受診患者数は宮城県内で唯一2万人を超えており、特に多い状況です)。

このため、当院では平成27年10月1日(木)17時から、夜間・休日に受診を希望される方には、診療費に加えて時間外の特別料金として2,700円(税込)を負担いただくことになりました。

■対象時間 平日は17時～翌8時30分、土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、創立記念日(5月1日)は終日

※なお、下記のように時間外の特別料金の対象とならない場合もあります。

- ・当院で診療継続中の傷病の症状悪化によって受診する場合
- ・当院の医師から救急外来受診を指示されている場合
- ・他院から救急外来受診のための紹介状を持参した場合
- ・中学生以下の方が受診する場合
- ・労災による傷病で緊急の処置や対応が必要な場合
- ・交通事故や喧嘩等の第三者行為による傷病で緊急の処置や対応が必要な場合
- ・診察の結果、重症で入院または転院となった場合



今回の特別料金導入については、患者さんではできる限り時間内にかけつけ医を受診することを心掛けていただき、一刻を争う緊急・重症な患者さんは救命救急センターで集中的に診療できる体制づくりを目的とした、やむを得ない措置ですので、何卒ご理解の程よろしくお願いたします。

なお、風邪などの軽い症状や自分で歩ける方が時間外に受診を希望される場合は、石巻市夜間急患センターや休日当番医を受診いただくよう、ご協力をお願いします。

■問 石巻赤十字病院救急課 ☎0225-21-7220(代表)

就学時健康診断を実施

平成28年4月、小学校に入学予定の児童を対象に、就学時健康診断を実施します。

■対象児童 平成28年4月、小学校入学予定の児童
(平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ)

■場所 市コミュニティセンターおよび矢本保健相談センター

■実施日 各日午後実施

実施日	入学予定学校名	場所
10月14日(水)	矢本東小学校	市コミュニティセンター
11月10日(火)	大曲小学校・大塩小学校	
11月11日(水)	矢本西小学校	
10月16日(金)	赤井小学校	矢本保健相談センター
11月11日(水)	宮野森小学校・鳴瀬桜華小学校	
11月12日(木)	赤井南小学校	

※受付開始時間など詳しい内容は、9月下旬に教育委員会から各保護者に郵送で通知します。

■問 学校教育課学校教育班 ☎内線1253・1254

防災集団移転促進事業に伴う移転元地買取りが9月で終了します

市では、平成24年12月から、東松島市防災集団移転促進事業に伴う移転元地の買取りを進めていますが、復興交付金事業の集中復興期間が平成27年度をもって終了することに伴い、**移転元地買取りの申し込みを9月30日(水)で終了します(市内防災集団移転地へ移転する方を除く)。**

現在まで買取り手続きを終えていない方には、個別通知をしていますが、買取りを希望する場合は、下記まで連絡ください。

●土地に抵当権などの権利が設定されている場合や登記名義人が亡くなられていて相続登記がされていない場合…所有者が権利の抹消や相続登記を行う必要があります。

●共有の土地に権利が設定されている場合や相続登記がされていない場合…共有者全員の登記手続き完了後に買取りになります。

※買取り希望の方で上記の抵当権や相続などにより、すぐに申請できない場合や何らかの理由で売買できないなど、不明な点がありましたら、下記まで相談ください。

■買取り申込期限 9月30日(水)

■問・申し込み 用地対策課用地対策班 ☎内線1483～1486

東松島市民 招待企画

～東北楽天ゴールデンイーグルスを応援しよう～

プロ野球シーズンも佳境を迎える9月に、コボスタ宮城に來場いただき、選手へ熱い声援による後押しをお願いします。

■試合日時 9月14日(月) 18時試合開始 埼玉西武ライオンズ戦

■場所 楽天Koboスタジアム宮城

■チケット引換開始時間

15時30分～

※引換場所は、コボスタ宮城正面広場特設

ブース。現住所が証明できるものを提示していただきます。

■席種 球団指定の外野席 ※チケットは上限6枚まで。

■申込方法 9月13日(日)18時まで、FAXまたは下記URLから申し込みください

【FAX申込の場合】

1. 市役所市民課窓口、鳴瀬総合支所窓口、各市民センターおよび市内社会体育施設にて専用の申込書を配布しますので、必要事項を記入のうえ、各自で申し込みください。

※ただし、配布先での申し込みの取り次ぎは行いませんので、あらかじめご了承ください。

2. 送信されたFAX本紙を当日引換場所に持参ください。

【URLから申し込みの場合】

1. URL:<http://bit.ly/1KOmnPy>(右のQRコード参照)を読み込み、必要事項を記入ください。

2. 申込完了後、「申込完了メール」を送信します。

3. 「申込完了メール」を当日引換場所に持参ください。

■問 株式会社楽天野球団チケットセンター

☎050-5817-8192(受付:10時～18時、不定休)



東松島市内の放射線測定

市では現在、市役所本庁舎西側通用口付近に、国の放射線測定可搬式モニタリングポストを設置していることから、この測定結果を掲載します。

空間放射線線量率調査結果(市役所西側通用口付近 地上1m:午前8時現在)						
測定日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日
測定値(単位:μSv/h)	0.033	0.033	0.032	0.032	0.033	0.035

※原子力規制委員会のホームページでリアルタイムの測定結果を公表しています。

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

■問 環境課環境班 ☎内線1155

ともに復興へ

みんなが主役の

市民協働のまちづくり 27

■問 市民協働課協働推進班 ☎内線1281



みんなの顔が見えるまちを目指して④ ～赤井地域～



赤井地区まちづくり計画 ～基本方針～

「オラが古里 赤井はひとつ」

・人と人とのつながりを大切に顔が見える環境を築き、互いに尊重し合って生活を営む温かい地域社会の実現

市東部に位置し、石巻市と隣接する赤井地区では、コミュニティ活動などを通して培ってきたまちづくりの歴史を将来へつなげる活動に力を入れています。その活動主体となるのが地区センター単位の自治会であり、また「話し合いの場」として赤井地区自治協議会があります。

震災後は地域を取り巻く環境が大きく変化し、地区住民のニーズも多様化しています。赤井地区では、地域の進むべき方向や、将来どのような地域にしていきたいのかなどを明確にした「赤井地区まちづくり計画」を掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

計画を進める上では、市が行うべきものや、住民が主体となっていくべきもの、行政と住民が協力して行うべきものなど役割分担を明確しながら、効果的な活動を展開していくことが大切です。

赤井地区では、柳の目と川前に災害公営住宅が建設されるなど、今後はさらなる人口増加が見込まれます。また地域社会を取り巻く「地方分権の進展」「市の財政難」「少子高齢化」なども無視できない課題となっており、新たなまちづくりに取り組んでいかなければいけません。こうした課題は住民が手を携え、一つずつ解決していくことが重要です。

赤井地区自治協議会では、皆さんが古里に誇りを持ち、元気いっぱい地域づくりに取り組めるようサポートを行っていきます。

赤井市民センター ■問 82-2075

赤井のパワー全開!!オール赤井まつり

“地区民による手作りの祭り”がキーワードの「第24回オール赤井まつり」が9月6日(日)午後3時から赤井市民センターを会場に行われます。ステージ発表や出店、子ども広場では、恒例のおばけ屋敷も行われます(雨天時はセンター内で実施)。そしてフィナーレは「げんき花火」です。どうぞお楽しみください。(昨年のおール赤井まつりの様子)



あかいいこカンパニー 子ども朝市

矢本第二中学校区の小学5年生から高校生までが主体の「あかいいこカンパニー」では、朝市を通して世代を超えた住民交流の場を作ろうと「子ども朝市“赤井の野菜を食べてけらいん市”」を実施しています。今年も11月8日(日)に、南赤井児童公園で開催する予定です。また同カンパニーでは“新入社員”になって一緒に活動してくれるメンバーを随時募集しています。(昨年の子ども朝市の様子)



第3回東松島婚活イベントを開催します

- 日時 10月31日(土)13時
- 場所 蔵しっくパーク
- 募集人数 男女ともに15人 ※申込先着順。
※内容・参加対象などの詳しい内容は、市報9月15日号でお知らせします。
- 主催 東松島市、東松島婚活プロジェクト実行委員会
- 問 一般社団法人東松島みらいとし機構 ☎98-7311

第8回矢本東地区レクリエーション大会

- 日時 9月6日(日)9時～ ■場所 東松島市民体育館
- 内容 楽しい健康づくり体操、誰でもできる競技、幼児・小学生向け競技、東松島音頭、年代別リレーなど
- 対象 矢本東地域住民ならどなたでも参加できます
※運動のできる服装、上靴持参でおいでください。
- 問 矢本ひがしネットワークコミュニティ
(事務局:矢本東市民センター) ☎82-1180



第1回婚活セミナーを開催します

- 日時 9月13日(日)
- ①男性向けセミナー:10時～11時30分 ※受付開始:9時30分。
- ②女性向けセミナー:13時～14時30分 ※受付開始:12時30分。
- ③ご家族向けセミナー:15時～16時30分 ※受付開始:14時30分。
- 場所 蔵しっくパーク
- 内容 男性向けおよび女性向けでは、婚活に向けて異性間の違いを理解できるような話や、婚活イベントの必勝法をお話します。
また、ご家族向けでは、子供の婚活を助けるためにすること、してはならないことをお話します。いずれも、結婚後の話にも触れる予定です。
- 募集人数 各セミナー20人 ※申込先着順。
- 参加資格 どなたでも参加できます ※参加無料。
- 受付期間 9月11日(金)までの平日
※受付時間は平日(土・日曜、祝日を除く)9時～17時です。
※座席に余裕がある場合は当日も受け付けます。
- 申込方法 下記に電話で申し込みください
- 問 一般社団法人東松島みらいとし機構 ☎98-7311



チャレンジショップ(あったかいホール1階)では、地元の旬の野菜・海苔や手作り小物を販売しています。ぜひお越しください。

- ★布草履教室
- 日時 9月12日(土)・17日(木)13時～16時
- 材料費 500円
- ★健康麻雀教室
- 日時 9月4日(金)・18日(金)13時～16時
- 受講料 500円
- ★東松島すまいるひろば
- 日時 9月18日(金)10時～12時
- 参加費 無料



「あったかいホール」開館時間のお知らせ

- チャレンジショップ(1階) 10時～16時、日曜体館
※あったかいホールは、祝日もお休みとなりました。
- 問・申し込み ☎98-6061 FAX:98-6062

CityView!



[CityView!]では、市のイベントや地域の話題を、皆さんにお届けします。
<掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



息の合った演奏で祭りに
活気を呼び込んだ小学生た
ちの鼓笛隊パレード
(大曲小学校)



初開催の「創作子
どもみこしコンテス
ト」では、ブルーイン
パルスの神輿を担
いだ四反走青年部
Jが最優秀賞に選ば
れました



「Pawprints in the Street」を小気
味良く掛け声を聴いた商店街
を練り歩いた八咫神輿



フィナーレでは、ふるさと復興大
使のSATSUKIさんらによるライブ
が繰り広げられ、会場を大いに盛り
上げました

東松島夏まつり2015 ～東松島の“いいね”を発進～

「東松島夏まつり2015」が8月22日(土)に矢本の大町商店街通りなどで開催されまし
た。蔵しっくパーク向かいのメーンステージでは小学生の太鼓演奏や、市民によるバンド
演奏、ダンスなどのパフォーマンスが次々と登場し、イベントに花を添えました。ブルーイ
ンパルスにちなんで青色に彩られた商店街通りは歩行者天国となり、鼓笛隊パレードや
神輿などで活気にあふれていました




元宮戸夏まつりは、宮戸小学校の
元気な宮戸島太鼓で開幕し、ア
ニメキャラクターのショーやみ
やまびきの会の高橋住生さん、
庄子眞理子さんによるコンサート
などが行われました。会場は地元

の海産物を振る舞う屋台で、夜
わい、夜になると松島の夜景を
バックに多数の花火が打ち上げら
れました。
(8月8日 奥松島縄文村歴史資料
館野外広場)

宮戸夏まつり



鳴瀬流灯花火大会



水面と夜空に映る光

第93回鳴瀬流灯花火大会では、震
災犠牲者をはじめ故人を慰霊する約
500個の灯ろうが水面を優しく照ら
し、約1000発の花火が夜空を焦がし
ました。河川敷に設けられたステー
ジでは、マラソンで東北地方を走行
中の芸人、間寛平さんやたむらけん
じさん、お笑いコンビ「爆笑コメディ
アンス」などが登場し、訪れた人た
ちを笑顔にしました(8月16日、鳴瀬大
橋付近鳴瀬川左岸河川敷)